

横断図

S=1:200

NO. 8
GH=181.80
FH=

建築工事 土木工事

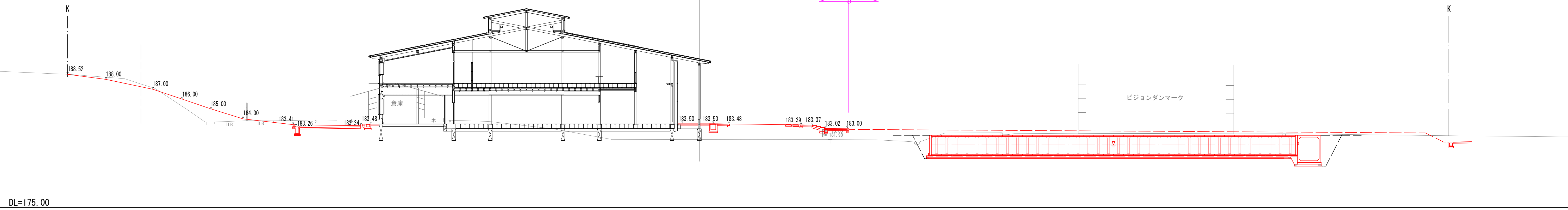
土木工事 建築工事

建築工事 土木工事



NO. 7
GH=187.53
FH=

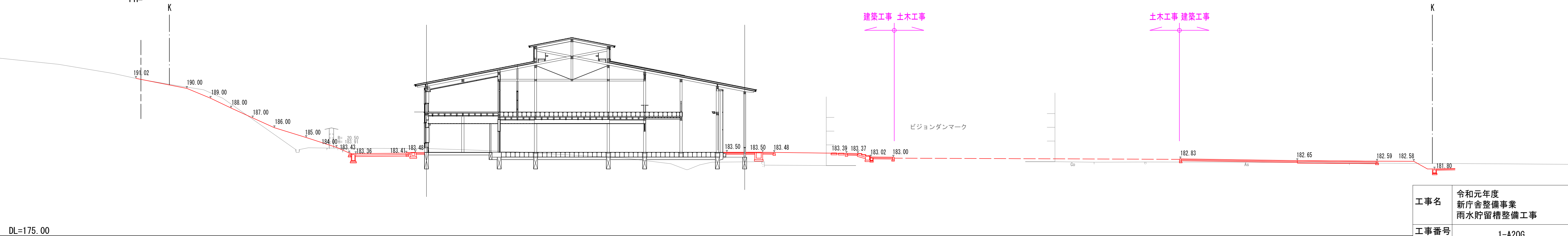
建築工事 土木工事



NO. 6
GH=190.91
FH=

建築工事 土木工事

土木工事 建築工事

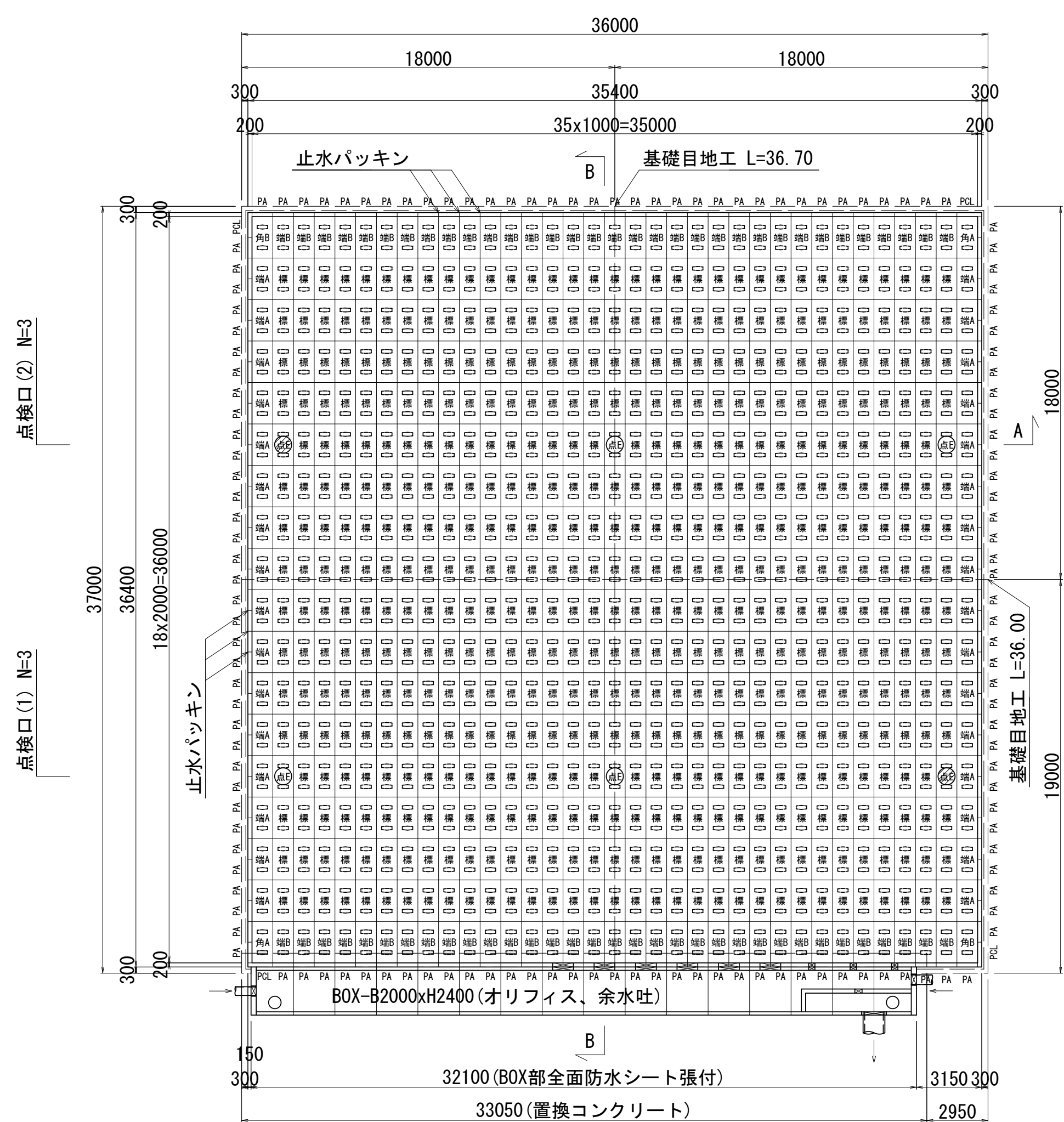


工事名	令和元年度 新庁舎整備事業 雨水貯留槽整備工事
工事番号	1-A20G
施工箇所	船井郡京丹波町蒲生地内
図面種類	横断図
縮尺	S=1:200
図面番号	6 葉之内 2

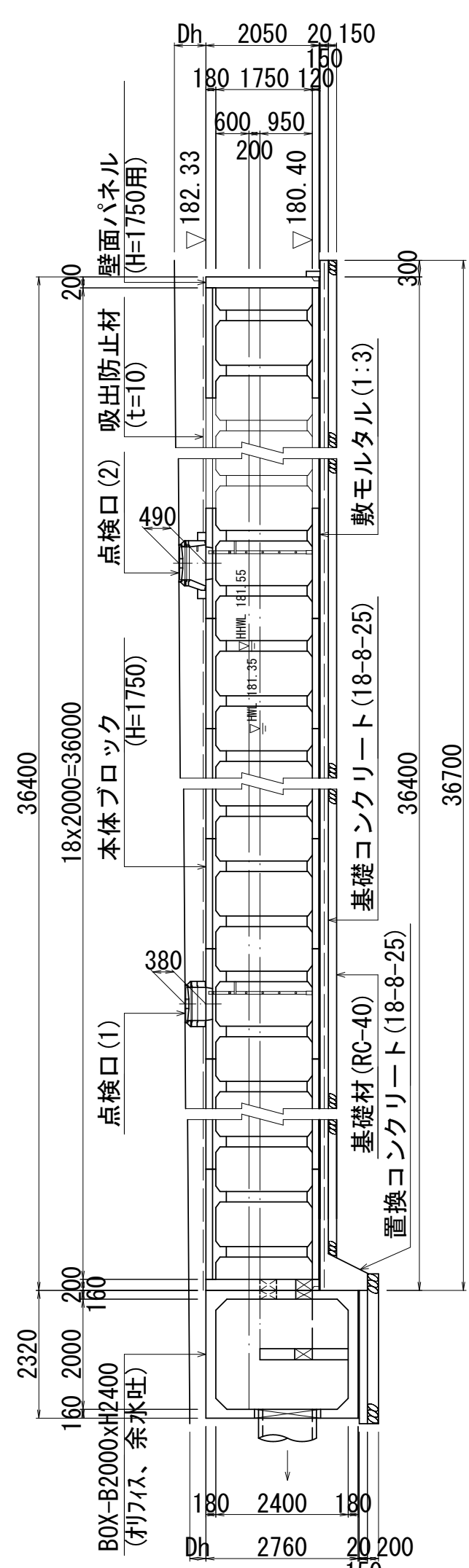
調整池A 構造図(1)

貯留ブロック

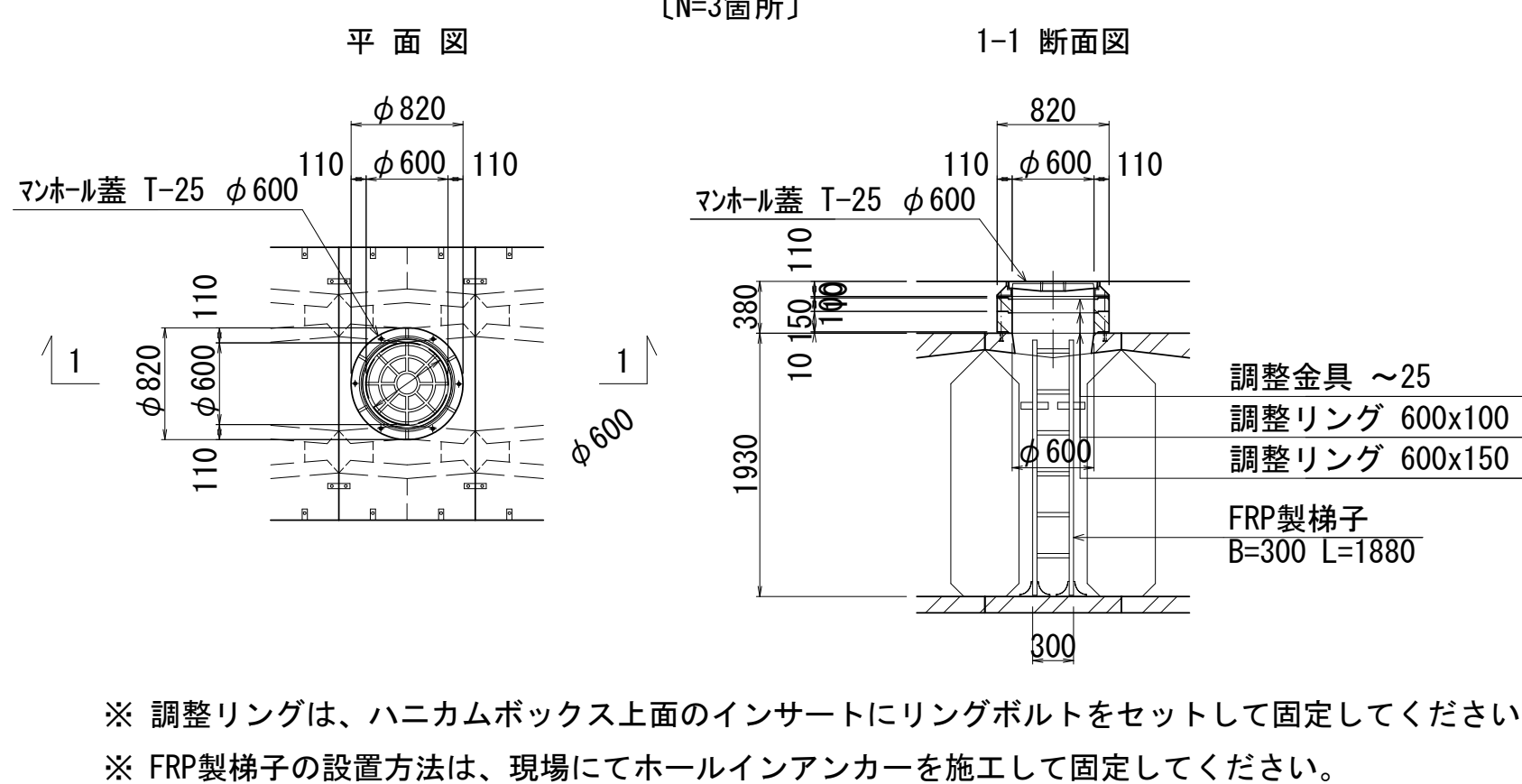
貯留ブロック配置図 S=1:400



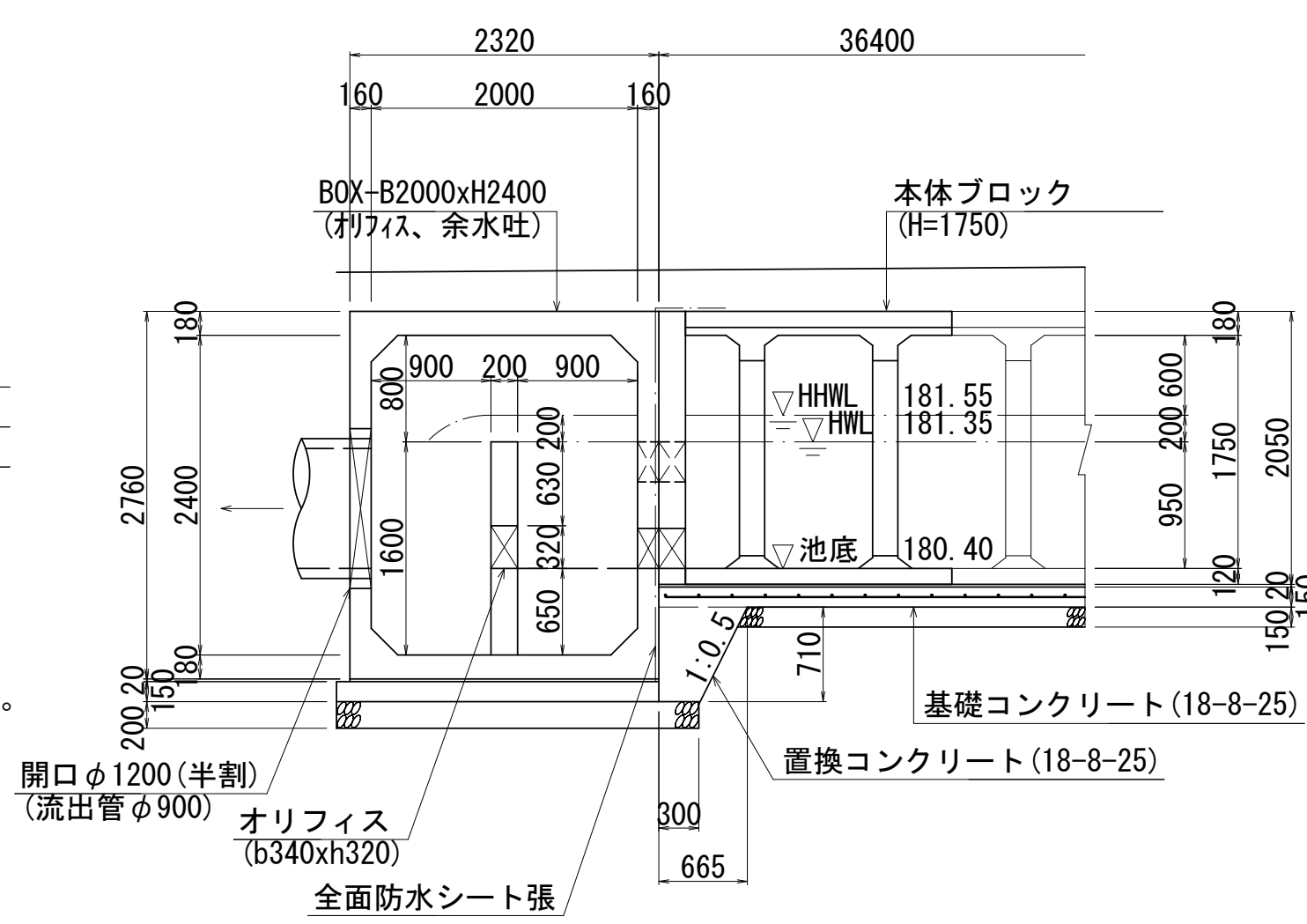
B-B 断面図 S=1:200



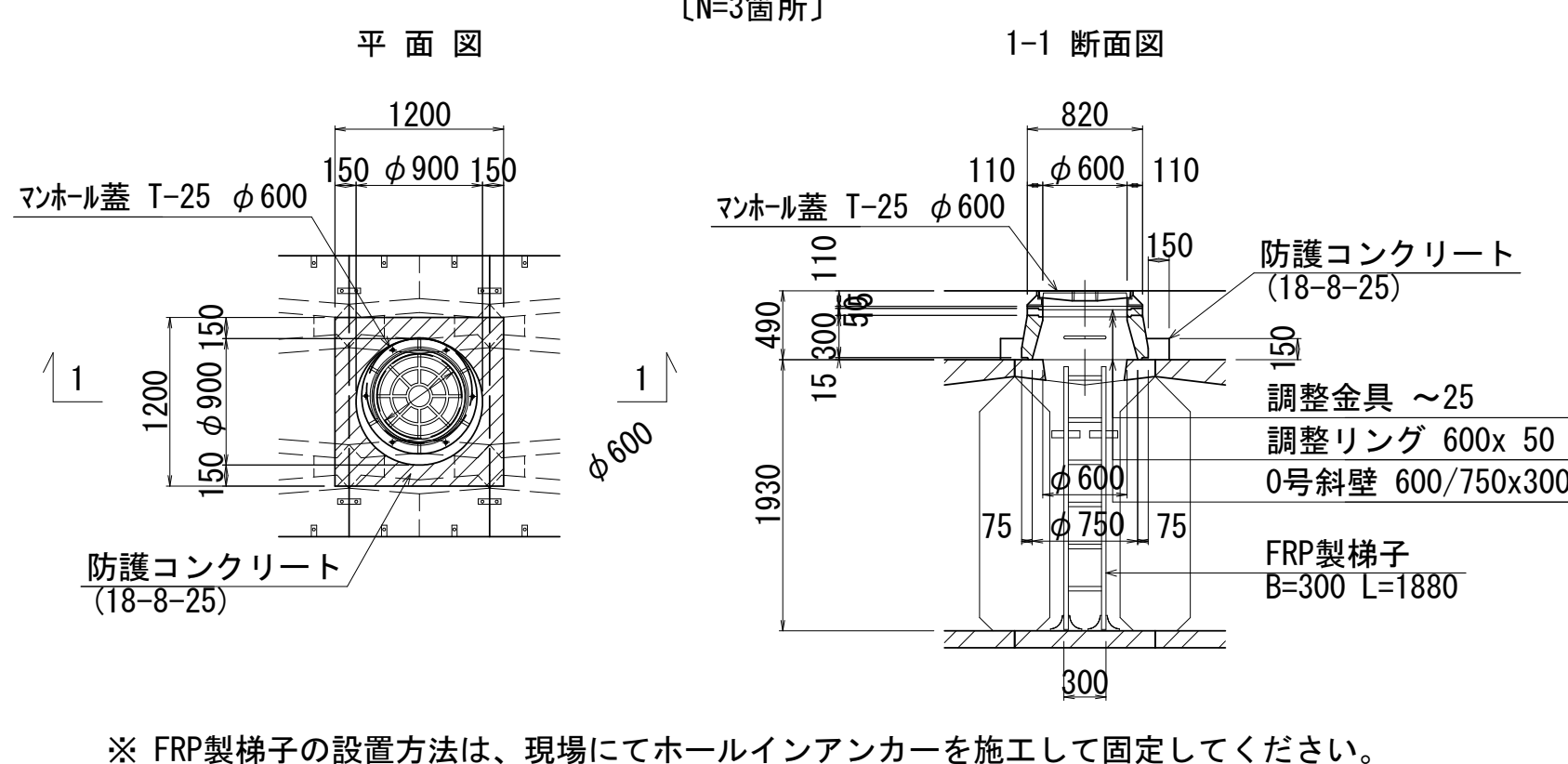
点検口(1)詳細図 S=1:100



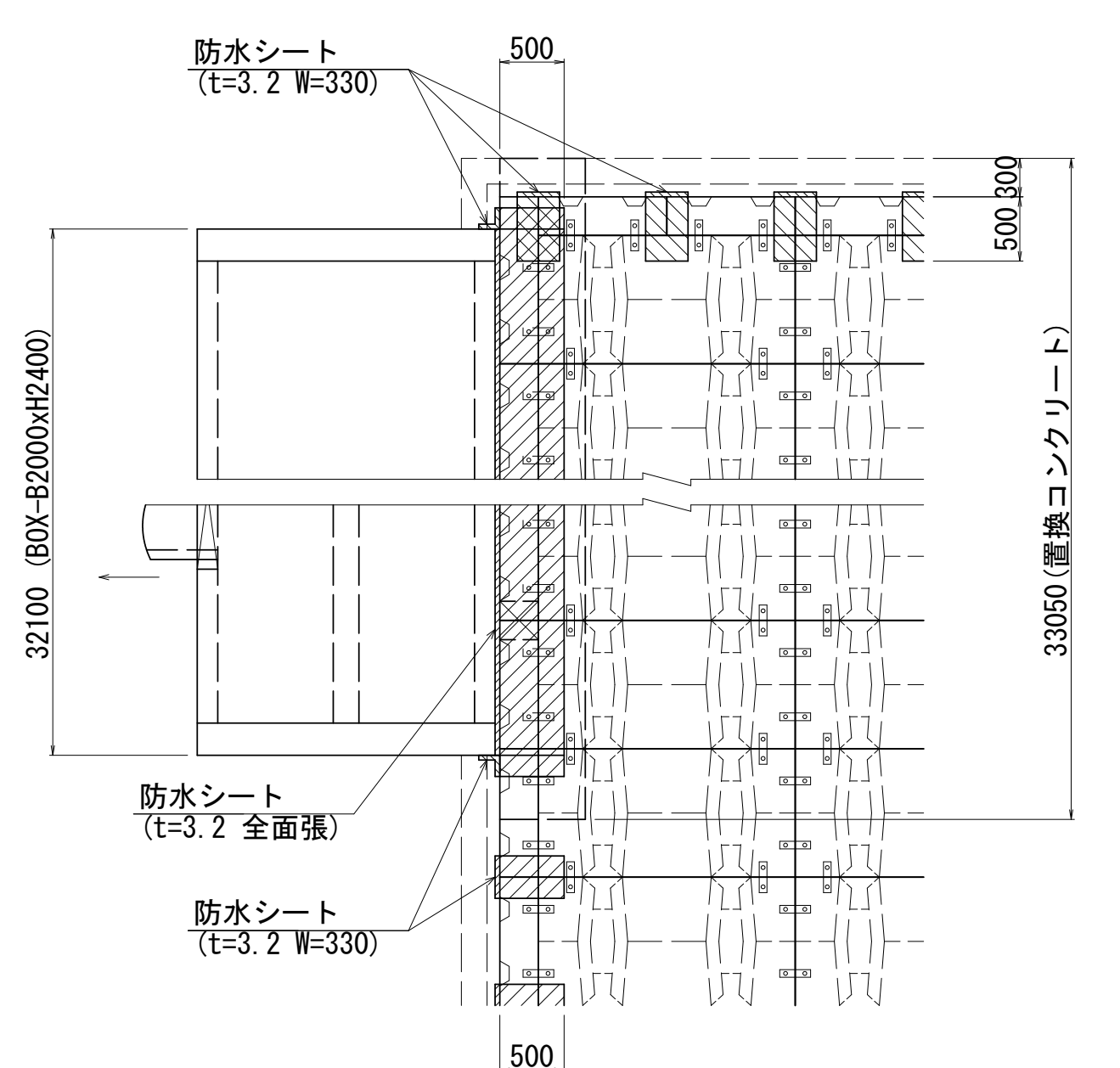
流出部詳細図 S=1:100



点検口(2)詳細図 S=1:100

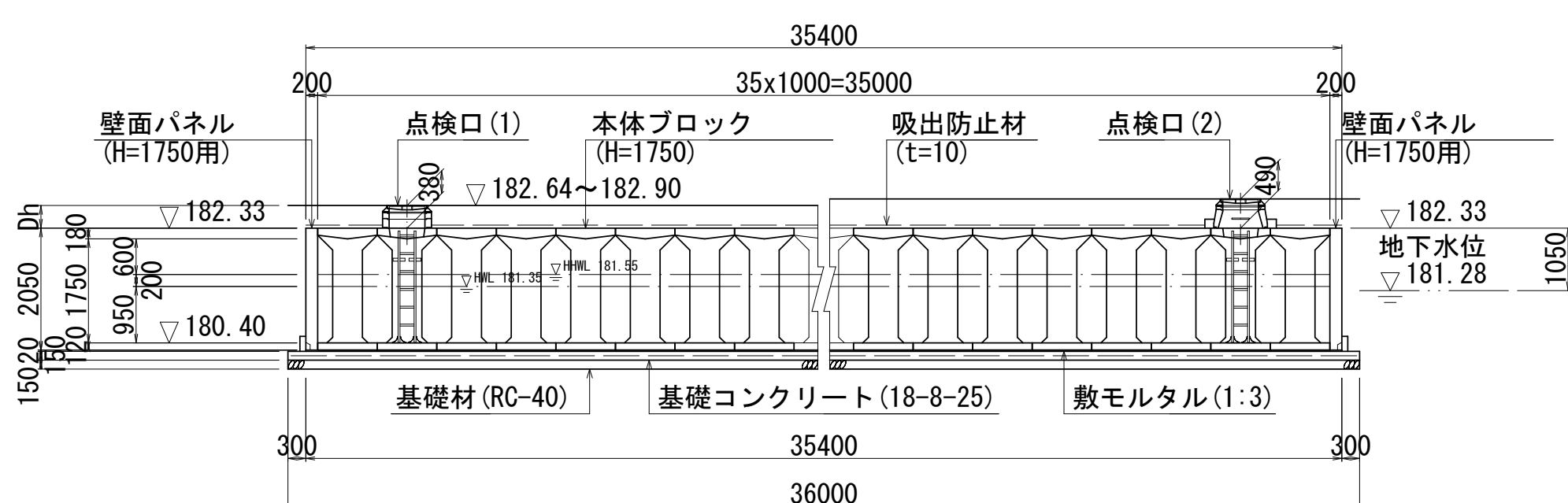


BOX接続部端部防水処理詳細図 S=1:100

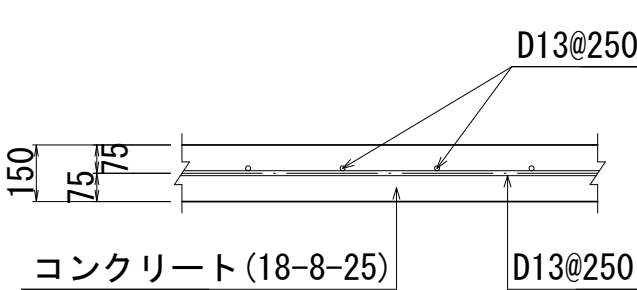


凡例：点検口の印は格子型マンホール蓋とする。
(空気抜き兼用)

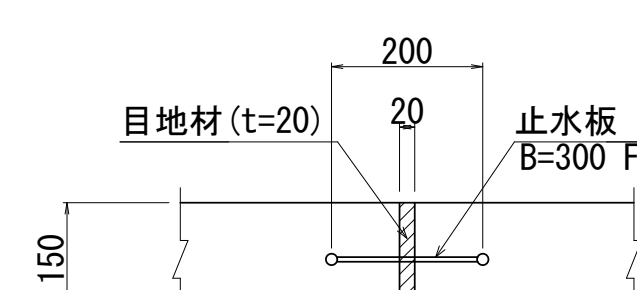
A-A 断面図 S=1:200



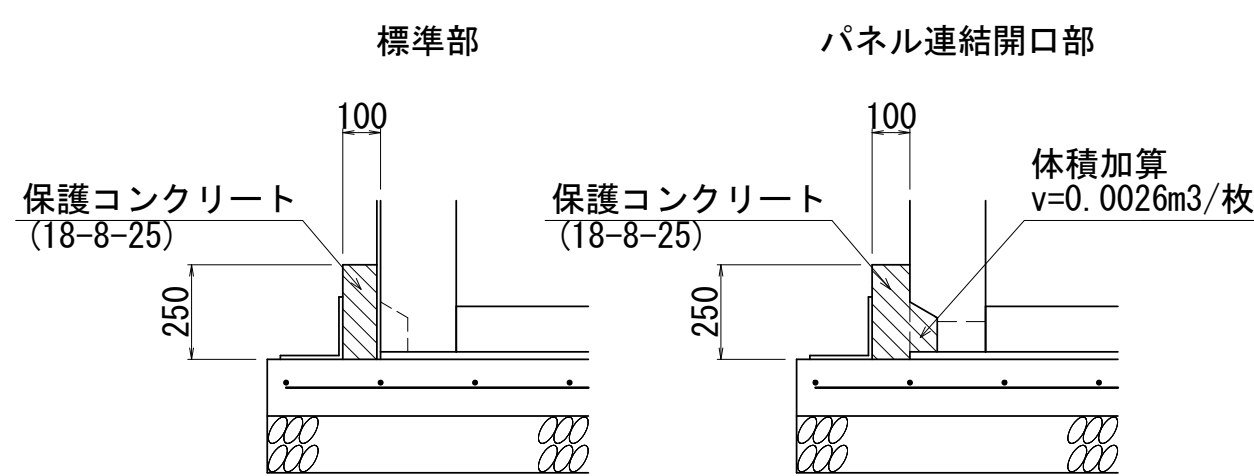
基礎コンクリート詳細図 S=1:20



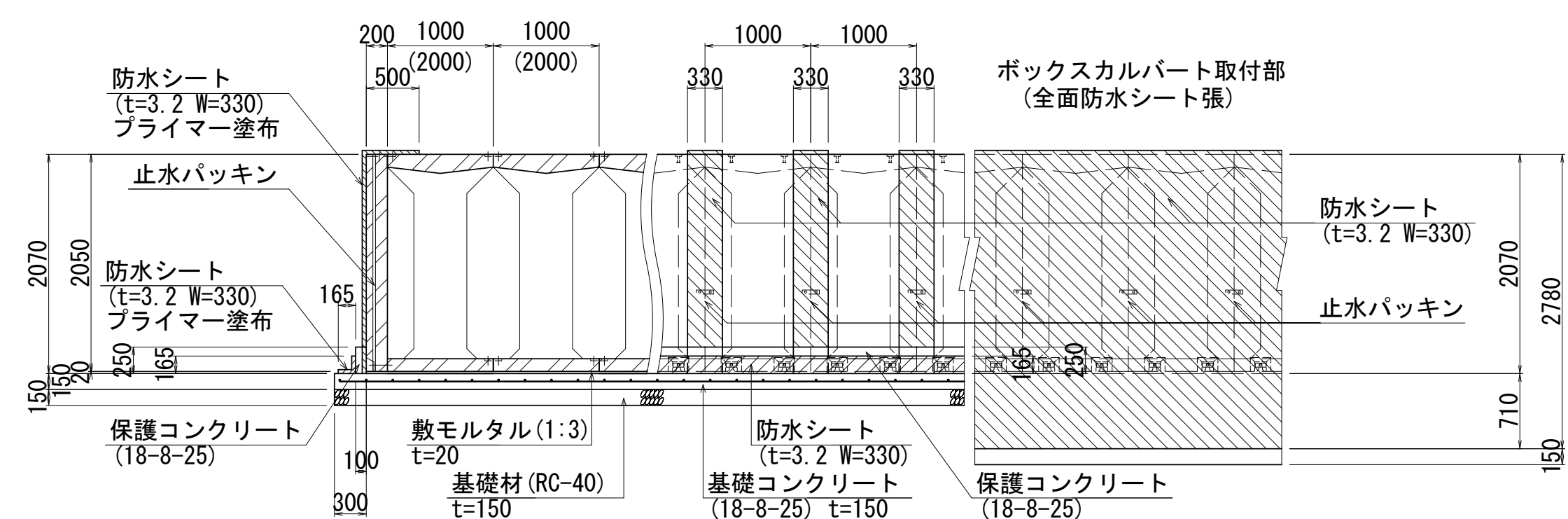
基礎目地工詳細図 S=1:10



保護コンクリート詳細図 S=1:20



防水処理工詳細図 S=1:100



注記
 ・点検口の位置や箇所については打合せください。
 ・不等沈下の恐れがある場合は均しコンの上に耐圧版を設けてください。
 ・流入口、流出口の開口部分は、別途検討が必要となります。
 ・施工時において平板載荷試験等により、必要地耐力を満足しているかどうかご確認ください。
 ・埋戻し材は、粒度分布の良い適切な材料を用いて埋戻しを行ってください。

本体付帯工 数量 (1式当り)

敷モルタル(1:3)	V=36.40x35.40x0.02	= 25.8 m ³
基礎コンクリート(18-8-25)	V=(37.00x36.00-0.30x32.10)x0.15	= 209.7 m ³
※ 置換コンクリートを含む	+ (0.665+0.30)/2x0.71x33.05	= 45.4 m ³
基礎型枠	A=(37.00x2+36.00x2)x0.15+33.05x0.71	= 10526.1 kg
基礎鉄筋(D13)	W=(37.00x36.00-0.30x32.10)x8x0.995	= 10.9 m ²
基礎目地工(t=20)	A=(36.70+36.00)x0.15	= 72.7 m
止水板設置工(B=200)	L=36.70+36.00	= 1322.4 m ²
基礎材(RC-40 t=150)	A=37.00x36.00-0.30x32.10	= 1322.4 m ²
外周防水工(側面)	A=(0.50+2.07)x0.33x(142-32+1)	= 199.4 m ²
	+ (0.50+2.78)x32.10	= 37.1 m ²
外周防水工(パネル下部)	A=(36.60x2+35.60x2-32.10)x0.33	= 1288.6 m ²
吸出防止材(t=10)	A=36.40x35.40	= 1288.6 m ²
防水保護コンクリート(18-8-25)	V=(36.60x2+35.40x2-32.10)x0.10x0.25	= 3.2 m ³
	+ 0.0026x142	= 28.1 m ³
防水保護型枠	A=(36.60x2+35.60x2-32.10)x0.25	= 0.36m ³
点検口防護コンクリート(18-8-25)	V=(1.20x1.20-π/4x0.90x0.90)x0.15x3	= 2.16m ³
点検口防護型枠	A=1.20x0.15x4x3	

ハンカボックスII 数量表 (1式当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
本体ブロック	H=1750 標準	個	522	
	H=1750 端部A	個	32	
	H=1750 端部B	個	66	
	H=1750 角部A	個	2	
	H=1750 角部B	個	2	
	H=1750 点検口E	個	6	
計		個	630	
壁面パネル	1750PA t=200	枚	138	L=1000
	1750PCL t=200	枚	4	L=1200
計		枚	142	
マンホール蓋	T-25 φ600	組	4	浮上防止
	T-25 φ600 格子型	組	2	浮上防止
調整金具	調整高25mmまで	組	6	
調整リング	600x 50	個	3	
	600x100	個	3	
	600x150	個	3	
0号斜壁	600/750x300	個	3	
FRP製梯子	B300 L=1880	基	6	

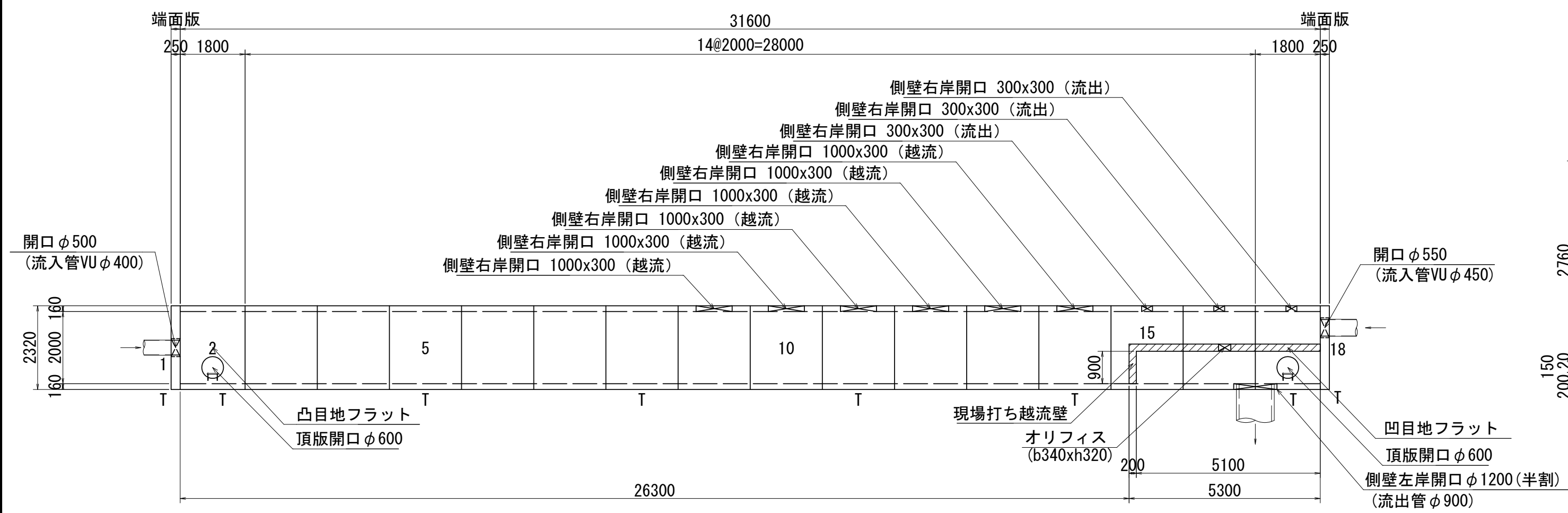
調整池諸元

内空高	1.750m
有効水深	0.950m (余裕高0.800m)
単位貯水量	0.863m ³ /m ²
調整池面積	1260.0m ²
有効貯水量	V=1260.0x0.863+56.5
	=1143.8m ³ > 1136.8m ³
有効堆砂深	0.650m
有効堆砂量	Vs=33.8m ³ > 32.2m ³
設計土被り	Dh=0.31m~0.57m
上載荷重	q=10kN/m ²
地下水位	天端-1.050m
耐震レベル	レベル2
必要地耐力	47kN/m ²

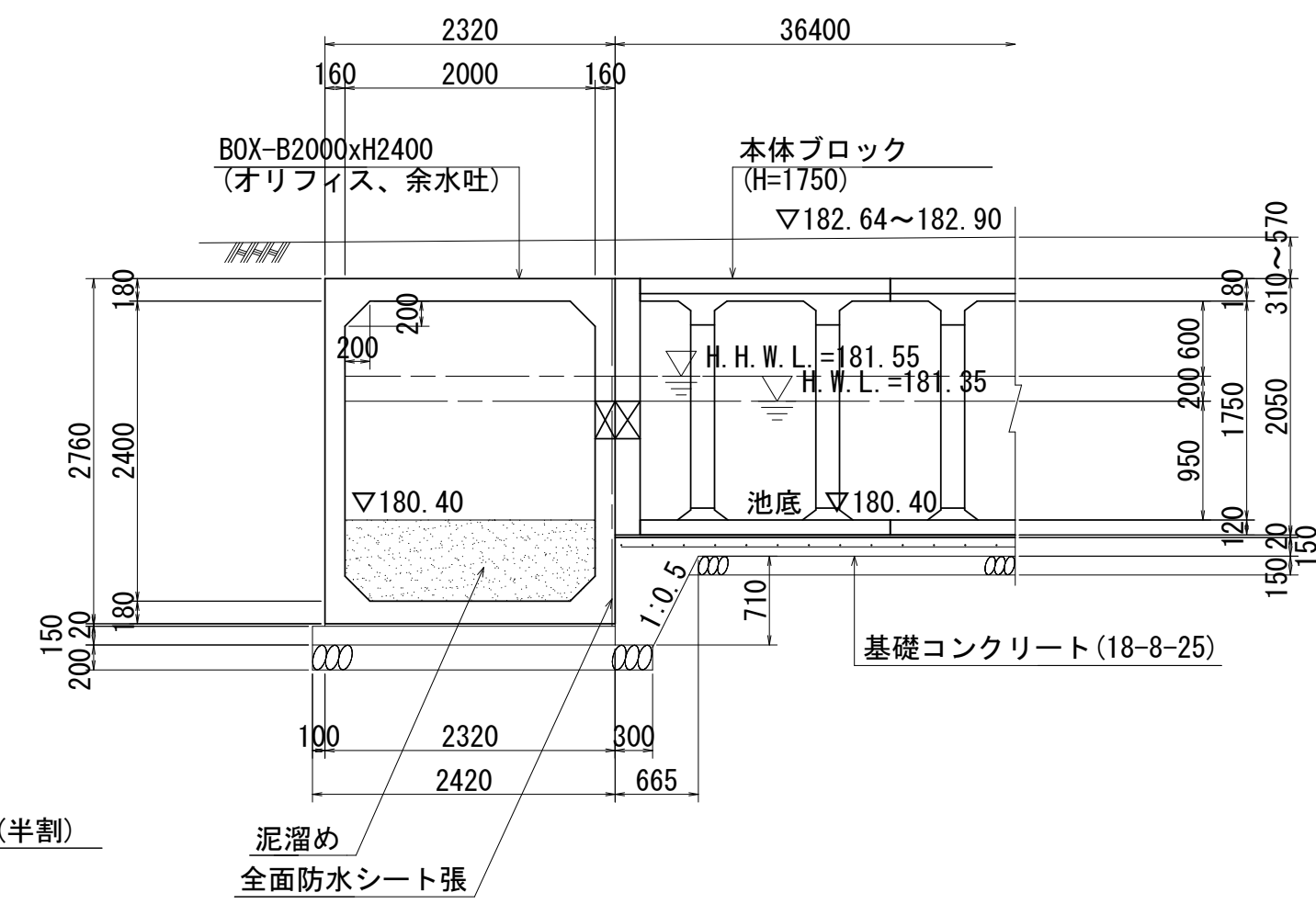
工事名	令和元年度 新庁舎整備事業 雨水貯留槽整備工事
工事番号	1-A20G
施工箇所	船井郡京丹波町蒲生地内
図面種類	調整池A 構造図(1)
縮尺	図示
図面番号	6 葉之内 3

調整池A 構造図(2) ボックスカルバート

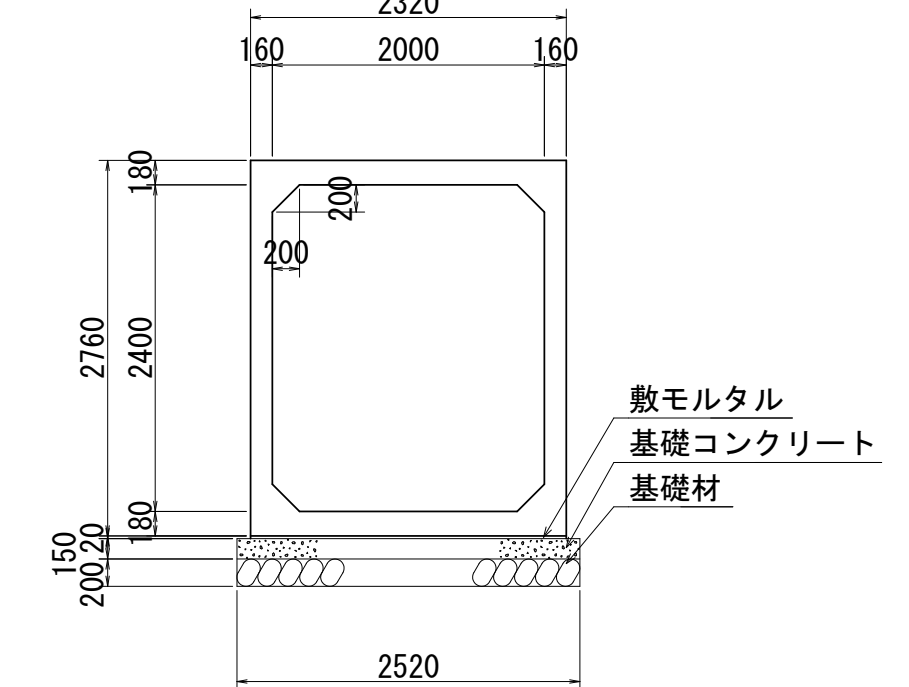
平面図
S=1:100



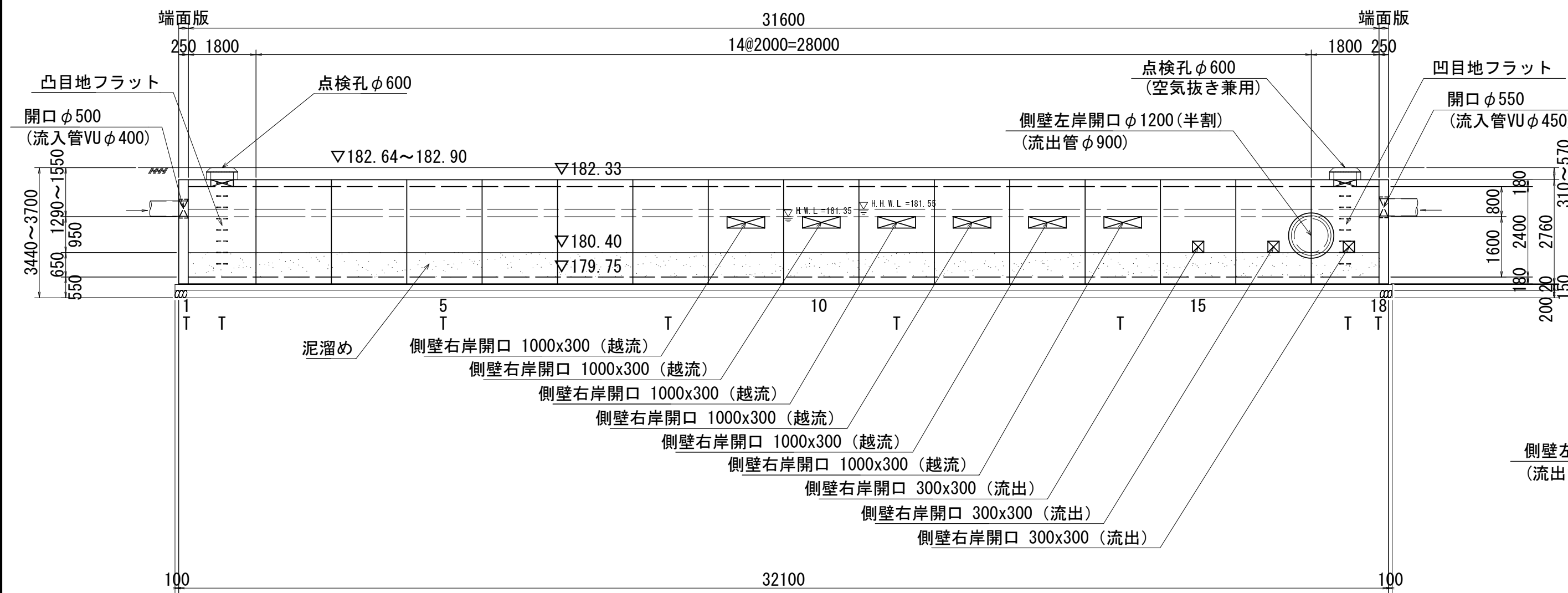
越流部詳細図
S=1:50



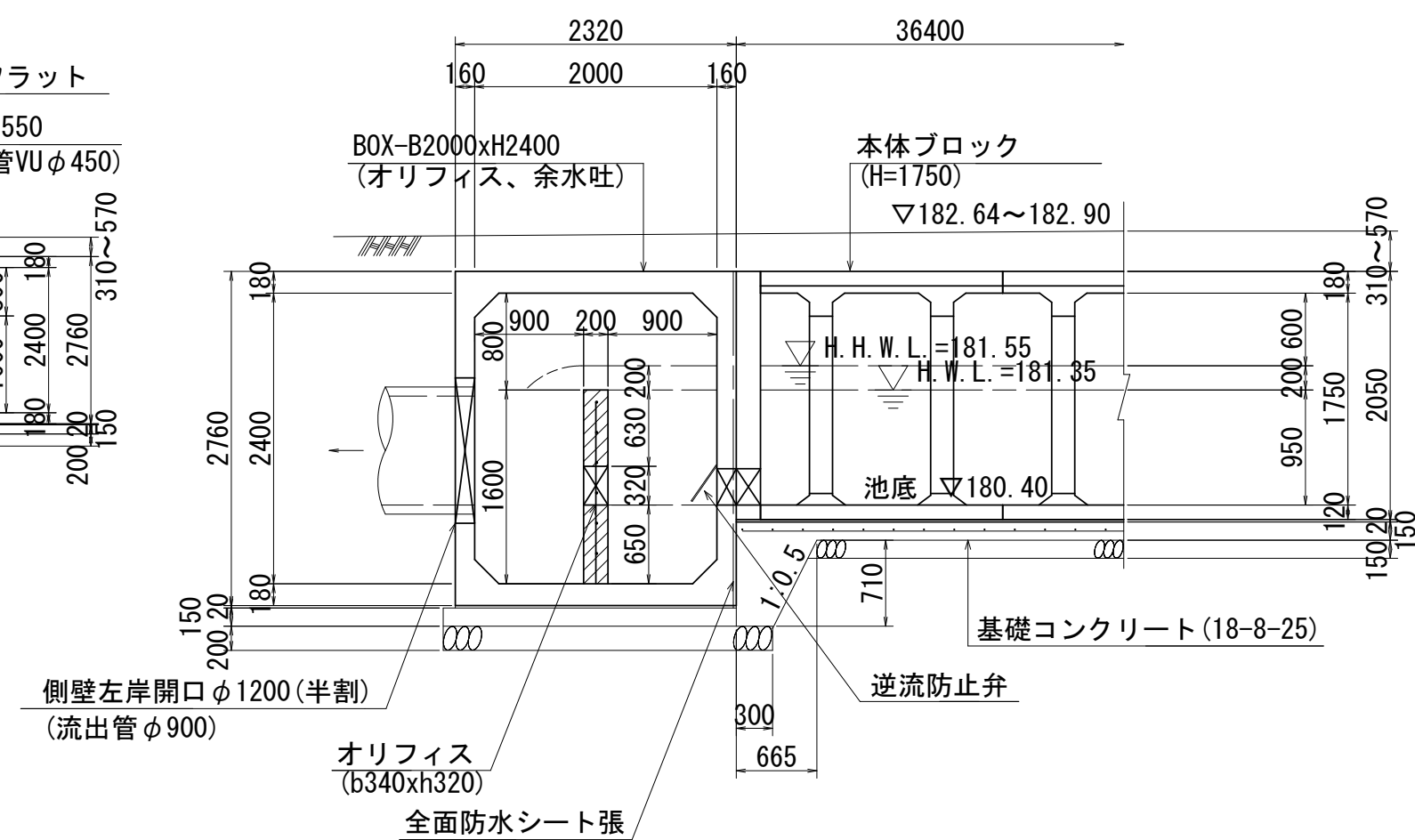
標準施工断面図
S=1:50



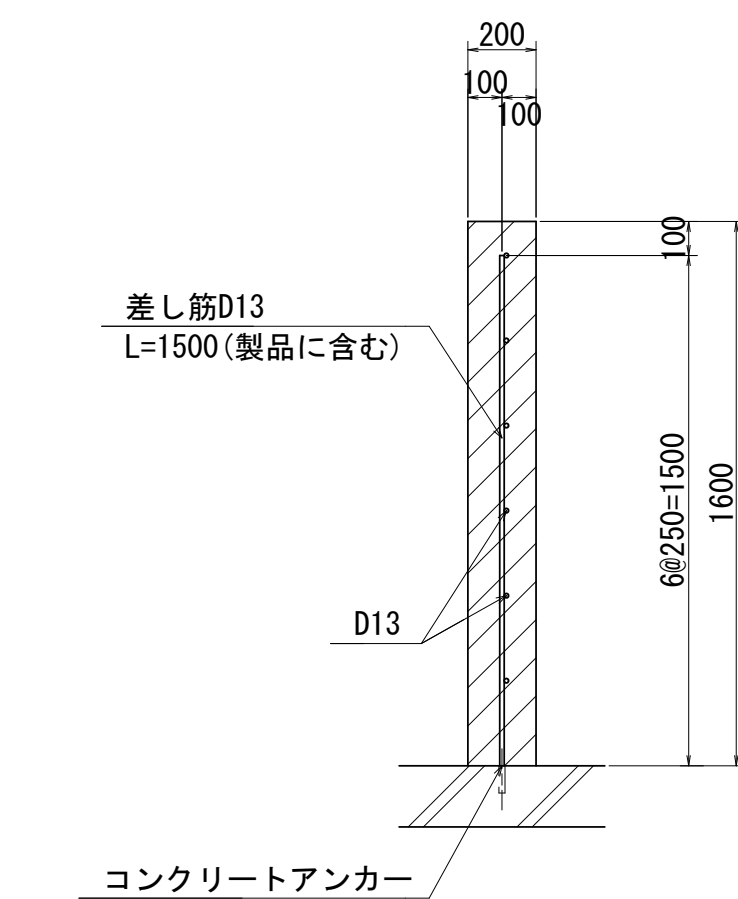
縦断面図
S=1:100



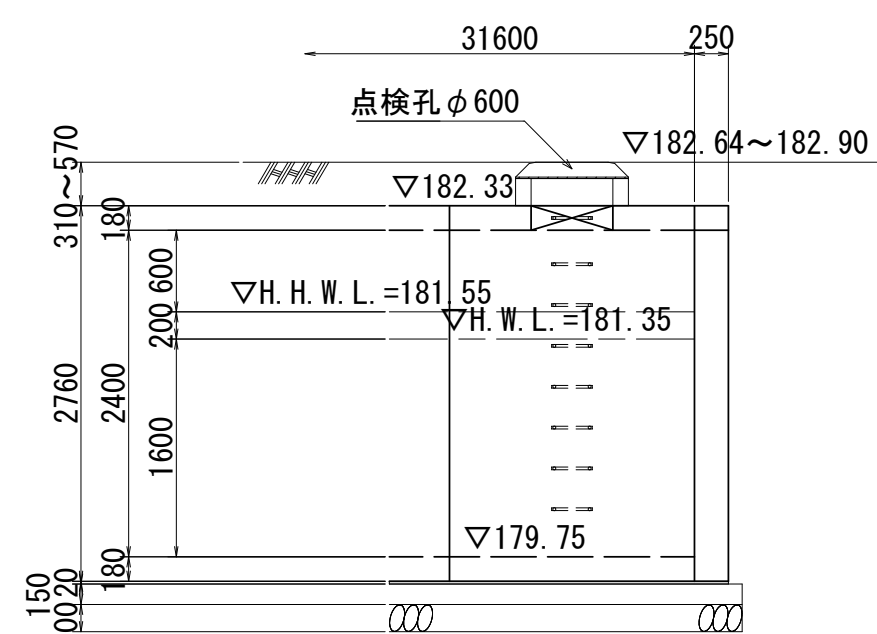
オリフィス部詳細図
S=1:50



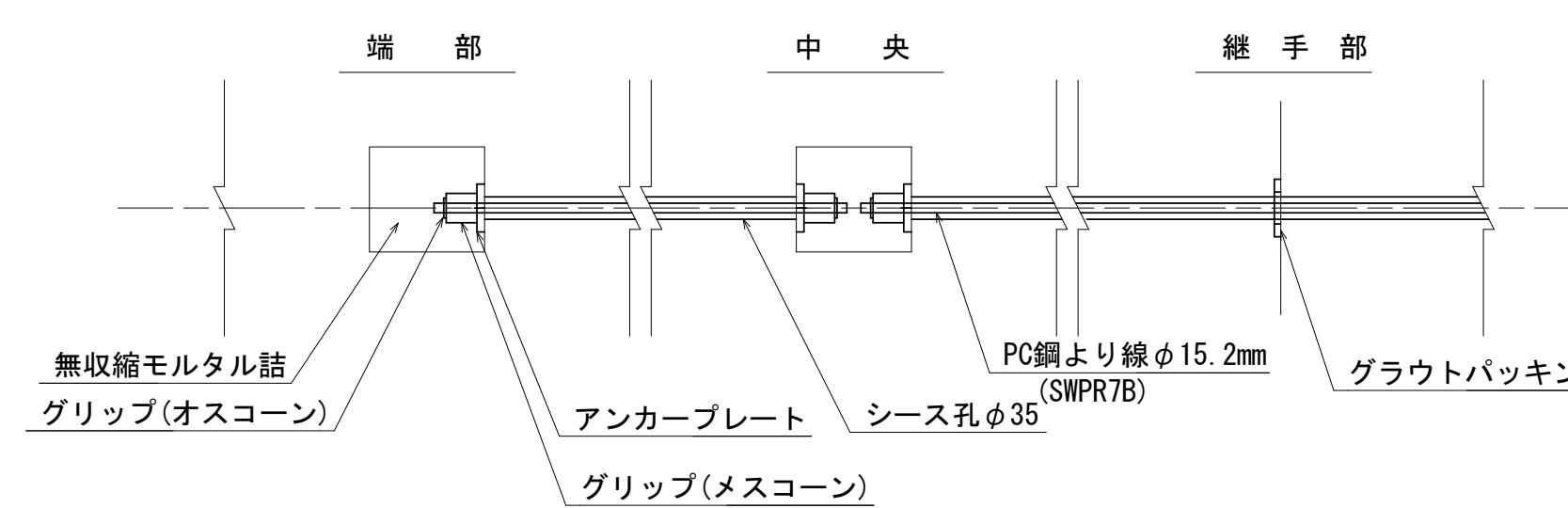
越流壁詳細図
S=1:20



点検孔詳細図
S=1:50



縦締め詳細図
S=1:10



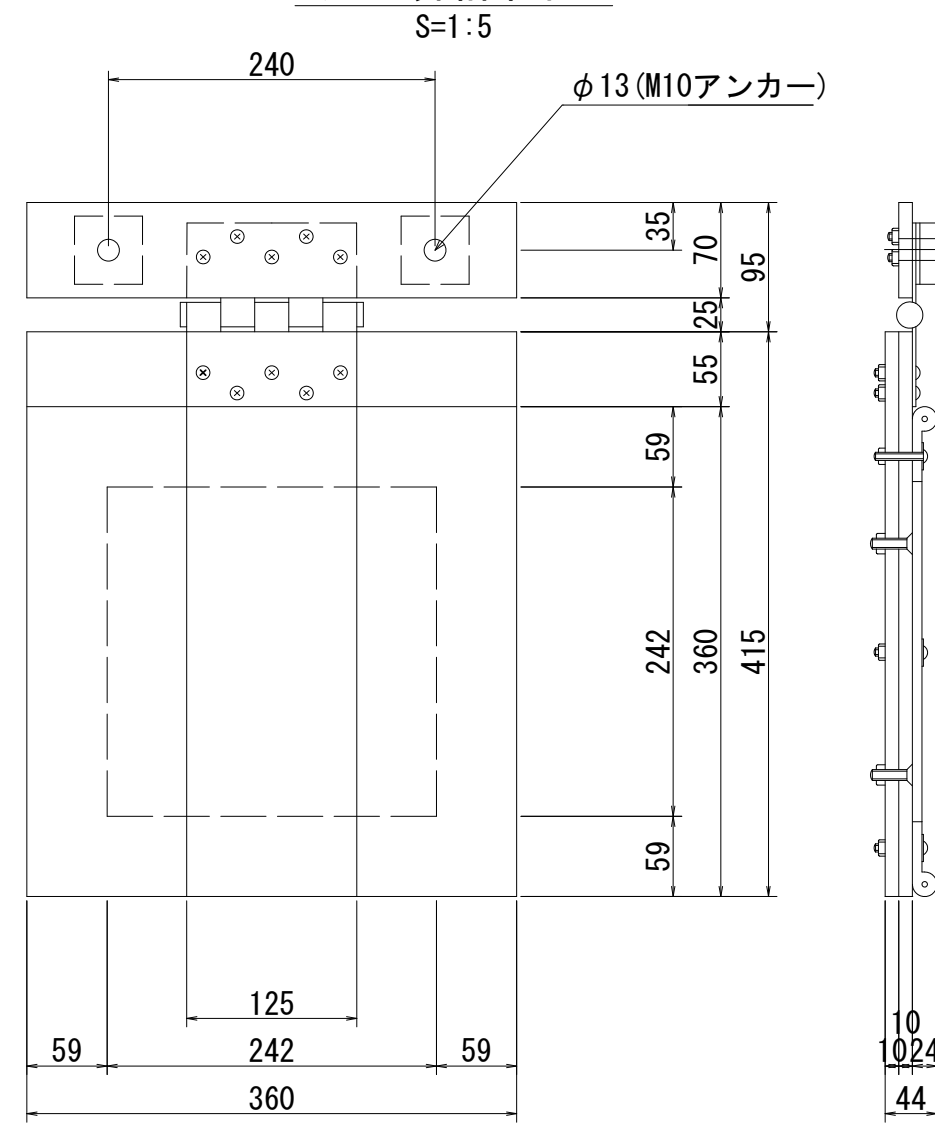
PC鋼より線 φ15.2mm 185.41kg
定着金具(グリップ、アンカープレート) 56組

- *製品の延びは考慮しない。
- *端面との連結は、P=50kN/本の4点同時緊張とする。
- *縦締めはPC鋼より線φ15.2mmを使用し、130kN/本で緊張を行う。但し、緊張荷重は、150kN/本を超えないこと。
- *Tは定着用ブロックを示す。
- *斜線部は現場打ち部を示す。
- *支持地盤において必要地耐力を有しているか調査し、必要な処置を施すこと。
- *端面との連結は、P=50kN/本の4点同時緊張とする。
- *流入位置および管径については、協議の上決定すること。

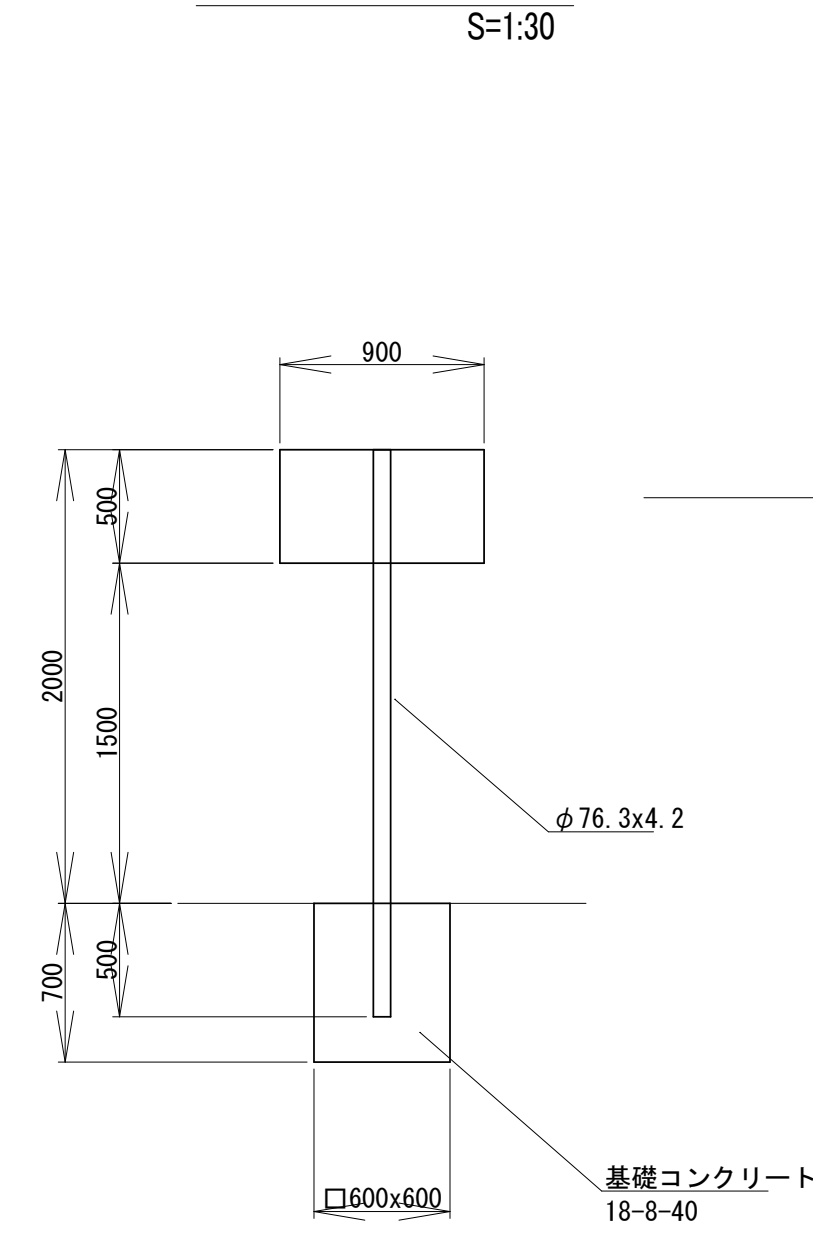
工事名	令和元年度 新庁舎整備事業 雨水貯留槽整備工事
工事番号	1-A20G
施工箇所	船井郡京丹波町蒲生地内
図面種類	調整池A 構造図(2)
縮尺	図示
図面番号	6葉之内 4

調整池A 構造図(3)

逆止弁詳細図



注意喚起看板柱



看板詳細図

重要開発調整池の名称	京丹波町庁舎調整池
重要開発調整池所有者	京丹波町
連絡先	0771-82-0200 (代表)
構造	地下式
設置年月日	令和 3年 3月31日

数量表 (BOX)

規格	種別	本数		合計	製品NO.	
		定着部有	定着部無		定着部有	定着部無
2000x2400x2000	標準	2	4	6	5.8	3.4.6.7
2000x2400x2000	側壁右岸開口300x300 底板差し筋付	0	1	1	-	15
2000x2400x2000	側壁右岸開口1000x300	2	4	6	11.14	9.10.12.13
2000x2400x2000	側壁左岸開口φ1200(半割) 側壁右岸開口300x300 底板差し筋付	0	1	1	-	16
2000x2400x1800	短尺、頂版開口φ600 凸目地フラット ステップ付	1	0	1	2	-
2000x2400x1800	短尺、頂版開口φ600 側壁右岸開口300x300 側壁左岸開口φ1200(半割) 凹目地フラット 底板差し筋付 ステップ付	1	0	1	17	-
合計		6	10	16		

数量表 (RC端面版)

規格	種別	本数		合計	製品NO.	
		定着部有	定着部無		定着部有	定着部無
2320x2760x250	開口φ500	1	0	1	1	-
2320x2760x250	開口φ550	1	0	1	18	-
合計		2	0	2		

数量表 (その他附帯工)

種別	種別	数量	備考
逆止弁	300用	3組	
鉄蓋	φ600	1組	受枠共
	φ600 (格子型)	1組	受枠共
調整用部材	H=200	2個	

数量表 (越流壁)

種別	算式	数量	備考
コンクリート	(5.30+0.90)x1.60x0.20-0.32x0.34x0.2	1.962 m3	24-8-25
型枠	(5.10+0.90+5.30+1.10)x1.60+(0.32+0.34)x2x0.20	20.104 m2	
鉄筋D13	(5.10+0.90)x0.995x6	35.820 kg	

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	2.42x32.30x0.15	11.725 m3	18-8-25
基礎型枠	(32.30+2.42)x0.15x2	10.413 m2	
基礎砕石	2.42x32.30	78.166 m2	t=0.20m
敷モルタル	2.32x32.10x0.02	1.489 m3	

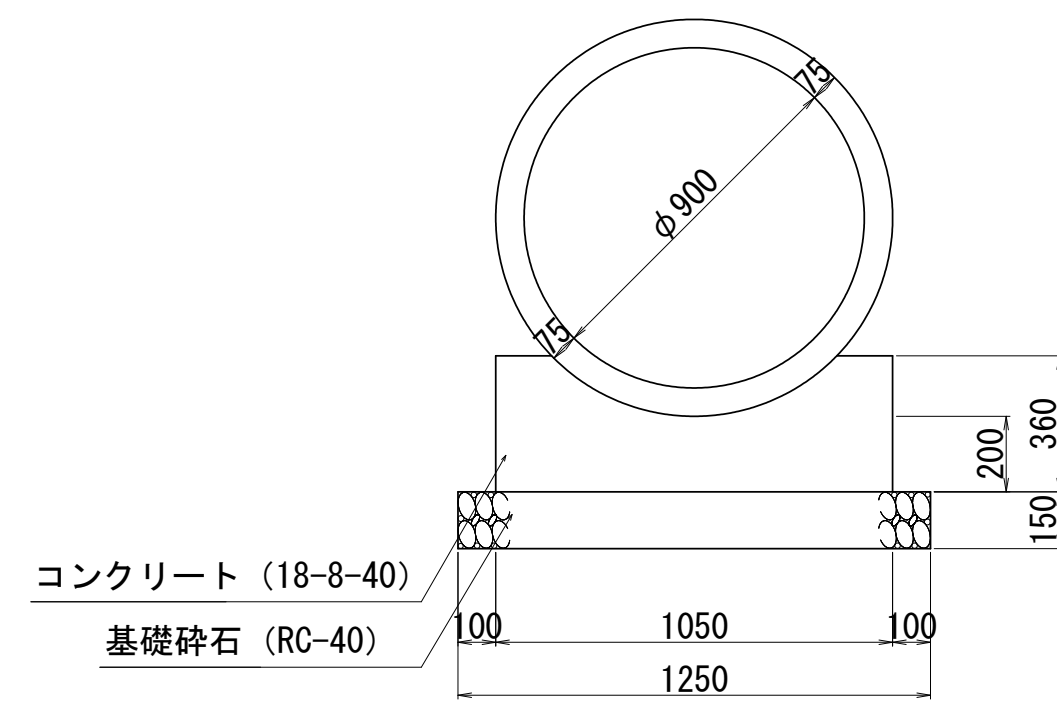
工事名	令和元年度 新庁舎整備事業 雨水貯留槽整備工事
工事番号	1-A20G
施工箇所	船井郡京丹波町蒲生地内
図面種類	調整池A 構造図(3)
縮尺	図示
図面番号	6葉之内 5

排水工詳細図

S=1:20

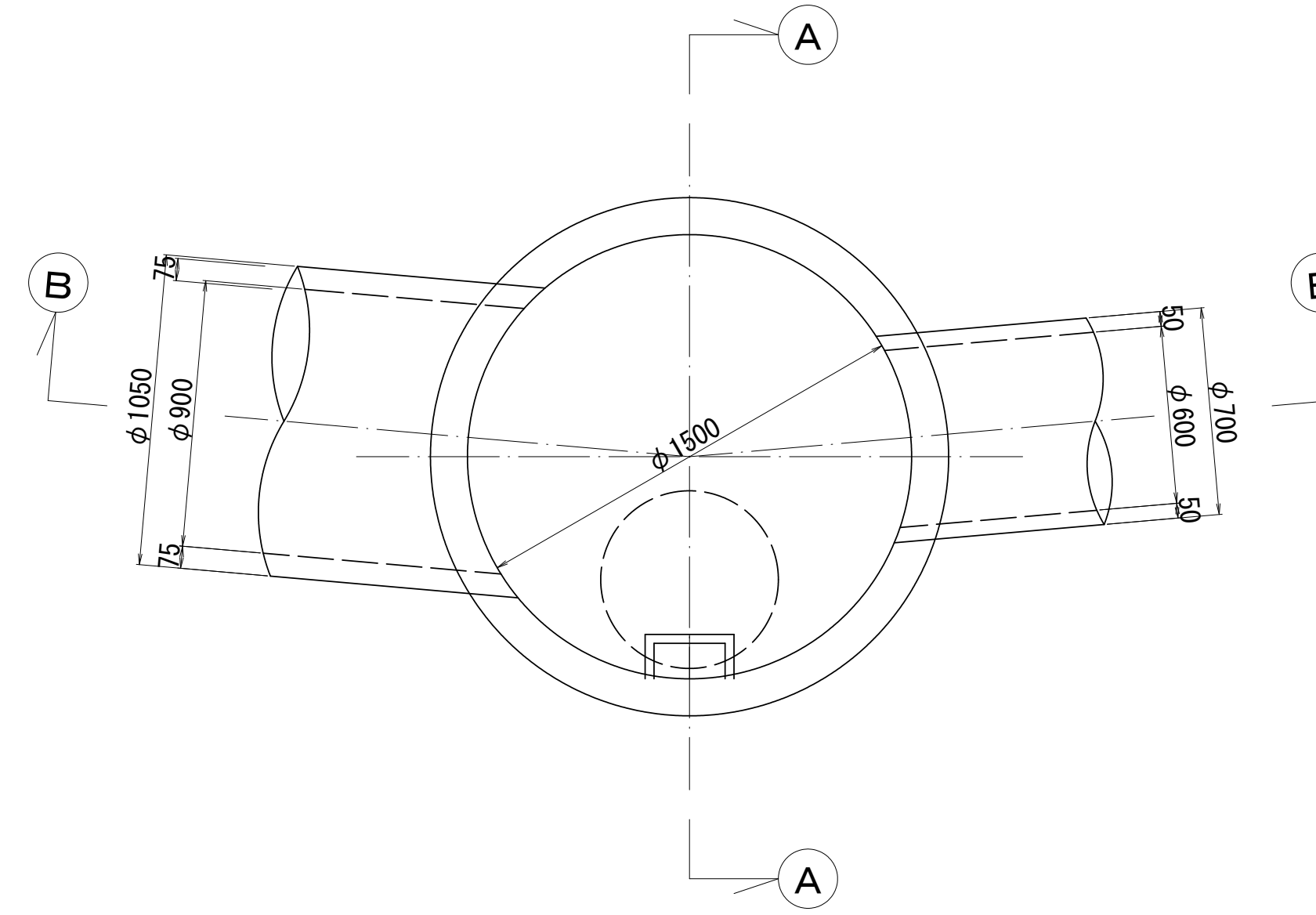
HPφ900 90° Co基礎

断面図



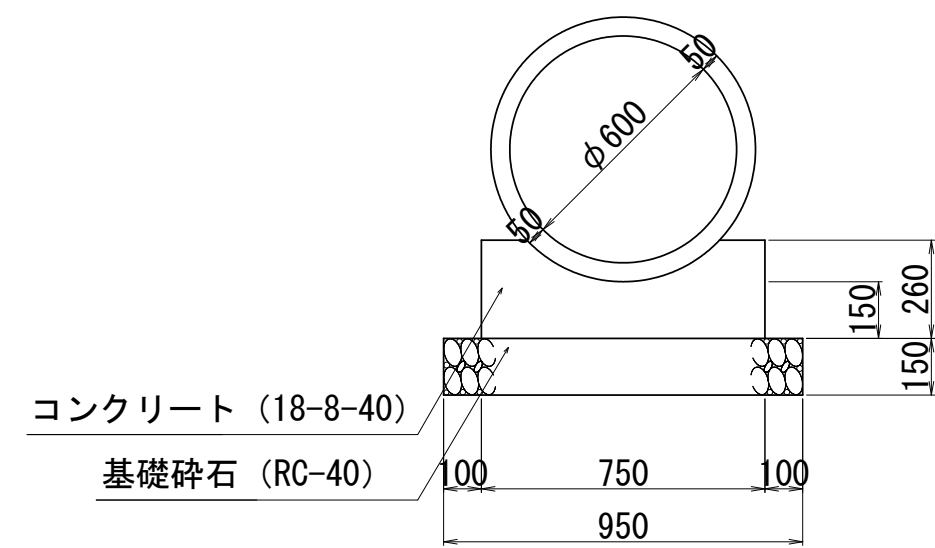
3号マンホール

平面図

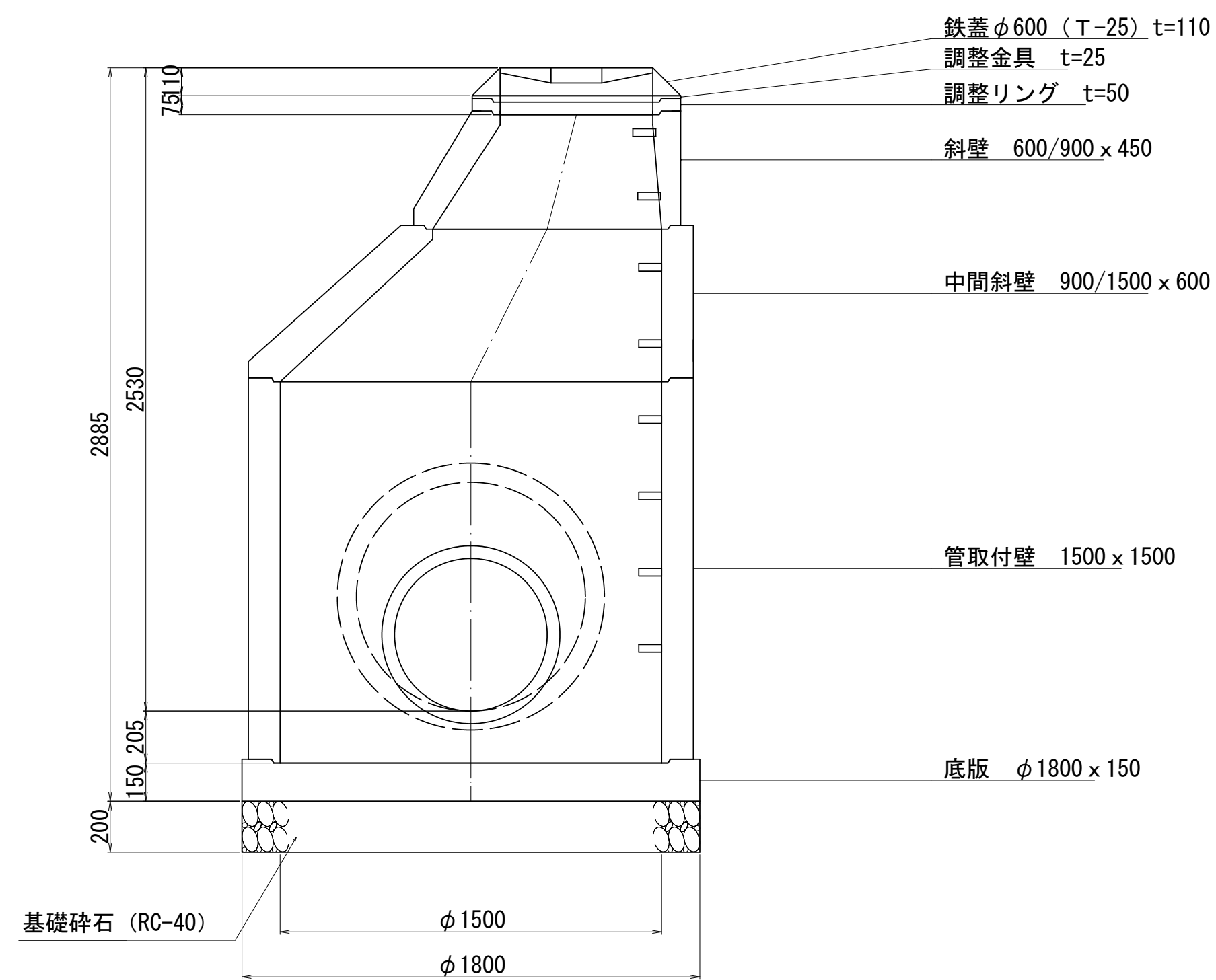


HPφ600 90° Co基礎

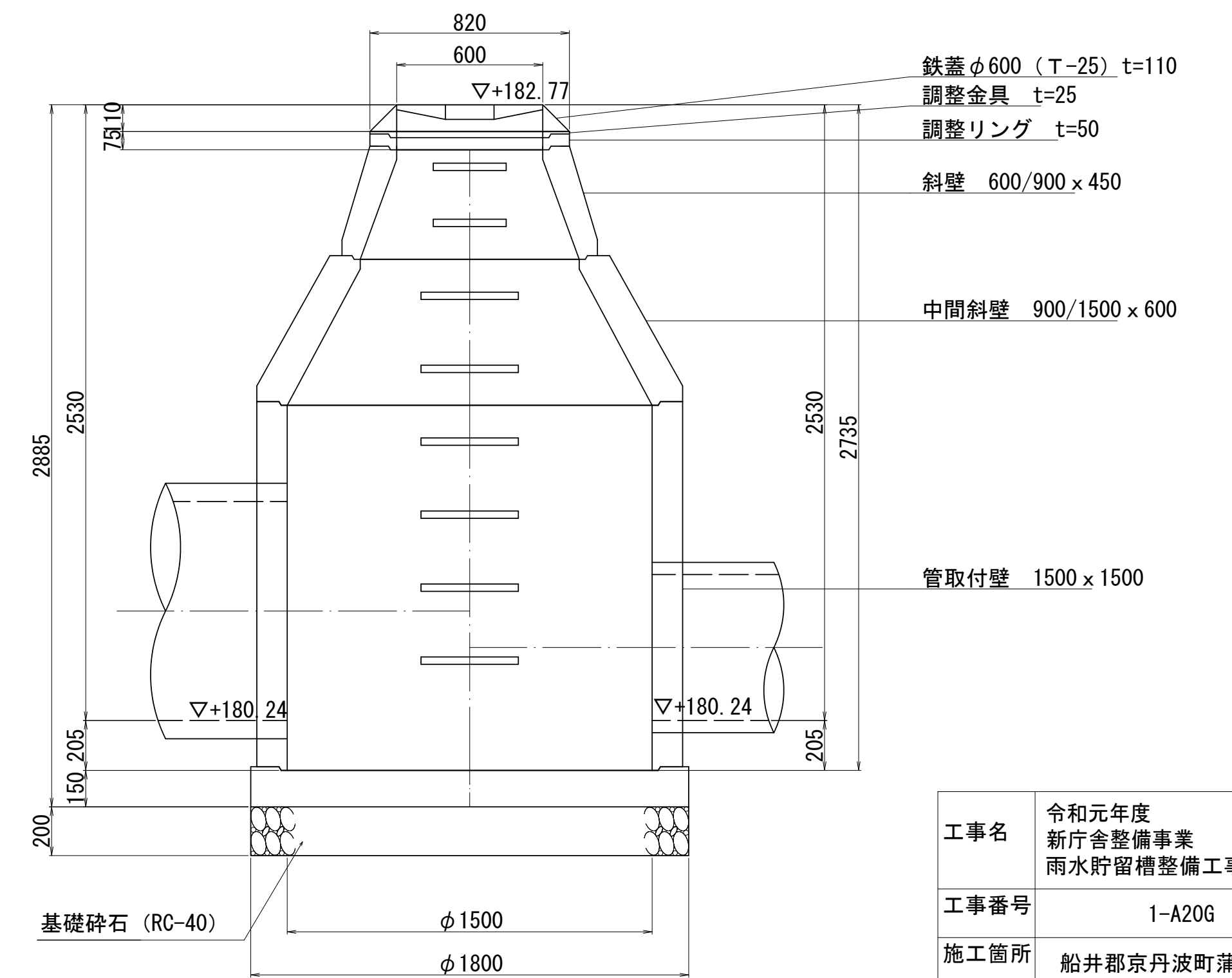
断面図



A-A 断面図

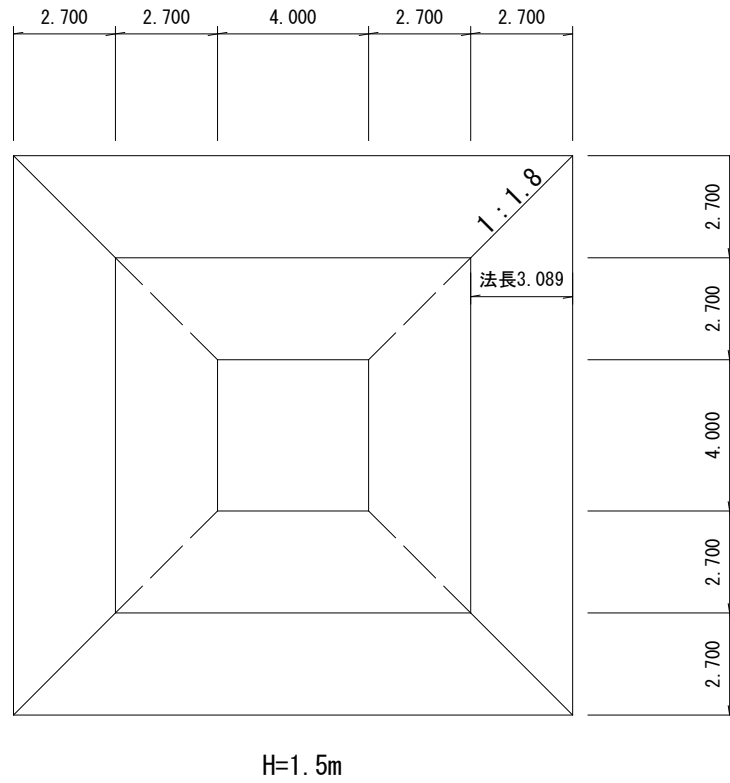


B-B 断面図



工事名	令和元年度 新庁舎整備事業 雨水貯留槽整備工事
工事番号	1-A20G
施工箇所	船井郡京丹波町蒲生地内
図面種類	排水工構造図
縮尺	S=1:20
図面番号	6 葉之内 6

沈砂池



$$A = (9.4 + 14.8) / 2 \times 3.089 \times 4 = 160 \text{m}^2$$

$$V = (4.0^2 + 9.4^2) / 2 \times 1.5 = 78.3 \text{m}^3 > 76.7 \text{m}^3$$